

熊本県庁 農林水産部森林局 様

職員が作成した復命書アプリで、報告工数を50%削減！帰庁後の作業ゼロを実現

現場から簡単に共有でき、報告件数が倍増。情報共有が活性化し組織の風通しも改善

熊本県庁 農林水産部森林局では、職員が日々の出張や会議内容を上長に報告する「復命書（業務報告）」を作成している。復命書は紙で運用していたため、作成から印刷、回覧までの作業に1件あたり20分以上かかり、各職員が年に数十件、作成・共有を行っていた。そこで、Platioで「復命書アプリ」を職員が1日で作成。現場や移動中にスマートフォンから入力・共有まで完結し、帰庁後の作業はゼロに。手軽に報告できるようになったことで報告件数が倍増し、情報共有の活性化と組織内の風通しの改善につながった。また、本取り組みは県庁内でも評価され、行政機関でのDX推進におけるモデルケースとして、部長表彰（準グランプリDX枠）を受賞している。

課題・目的

- 人手不足の中で業務量が増加し、業務効率化が急務となっていた
- 復命書作成は、帰庁後1件20分以上を要し、情報共有まで時間がかかる
- 現場でメモ→Wordで作成→写真貼付→印刷→回覧という、多段階の作業が職員の負担になっていた
- 報告の手間が大きく、共有されない情報も多かったため、現場の動きを網羅的に把握しにくい

選定ポイント

- 電波が届かない林業現場でもアプリを利用でき、誰でも簡単に使える
- 現場の業務をよく知る職員自身が短期間でアプリを作成・編集できる
- 専門的なIT知識がなくても、アプリを無理なく運用でき、現場の課題を解決できる
- アプリの中身や設定が分かりやすく、異動の多い行政組織でも引き継ぎ・継続運用しやすい

効果

- 復命書作成は1件20分から5分に短縮。作業時間を年間で50%削減
- 現場で復命書の共有が完結し、帰庁後の作業ゼロを実現
- 現場状況をリアルタイムで把握でき、指示やフォローが迅速化
- 報告ハードルが下がり、件数が倍増。情報共有が活性化し、組織の風通しも向上
- 復命書をきっかけに他業務でのアプリ活用へ波及し、業務改善の取り組みが進行



復命書入力画面

現場や移動中でも、選択式入力で迷わずスムーズに報告を作成



写真添付画面

その場で写真を登録し、後処理の手間を削減



復命書一覧画面

検索や絞り込み機能で履歴確認も容易



＜特産品の品質表示調査アプリ＞

紙運用から脱却し、報告・情報管理工数を約90%削減

ユーザーのひと言



復命書アプリを活用したことで、現場の情報共有の量とスピードが大きく変わりました。以前は「報告するほどではない」と省かれていた情報も、今はアプリから手軽に報告されるようになりました。これまで見えていなかった現場の小さな動きも組織全体で共有できるようになり、コミュニケーションの活性化にもつながっています。

一方で、行政組織のデジタル浸透は簡単ではなく、「紙で残したほうが安心」といった声があるのも現実です。だからこそ、できない理由を挙げるのではなく、まずはできることから始め、小さな実績を積み重ねていくことが大切だと感じています。Platioは、現場の職員でも使いやすく、業務に合ったアプリを自分たちで形にしやすい点が大きな魅力です。復命書は多くの自治体に共通する業務なので、私たちの事例が少しでも参考になれば幸いです。

熊本県庁 農林水産部森林局 林業振興課 主幹 鳥居 真臣 氏

林業振興課 参事 杉本 加奈子 氏

※記載の所属・役職は、取材当時のものです。

User Profile



所在地：熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18-1

会社概要：熊本県の行政事務を行う地方自治体(官公庁)で、地域振興、福祉、教育、土木、農林水産業など幅広い行政サービスを提供し、県民の生活と安全を守る業務を行っている

URL：https://www.pref.kumamoto.jp/